

- ❖ 2021-2022 ダイジェスト -Digest-
自分たちの手で 扉をひらく
- ❖ New-Hananomiモデル -B型×介護-
たし算をかけ算にかえる機動力
- ❖ 笑顔プロジェクト
つなげたい夢があるから 強くなる
- ❖ さくらまつり カウントダウン
ずっと待っていた 風が吹いてきた



今を明日へ
重ねることは つなぐこと



木工 干支の縁起物 園芸 寄せ植え ちぎり絵カレンダー ※撮影時のみマスクを外しています



習志野市への想いを積込 いざ出発

笑顔と緊張の贈呈式
宮本市長・諏訪副市長へ感謝の気持ちを込めて



議会事務局 花苗販売会

今を重ねること 活動をつなぐこと 明日を自分たちでつくること

令和3年度も世界中がコロナ渦の混乱の中にいました。でも「花の実園」に目を向けると制限される生活や活動の中、一人ひとりが確実に成長し続けています。自らが考える・可能性を探る・工夫をする、毎日を動かし続けることへの向上心と強い仲間意識が、個々の潜在能力とチーム力を発揮する原動力。次の展開を見据えた土台づくりは、今日の活動を明日に活かす～すべてがつながっていく未来発想～から始まっています。

Narashino-city
* Hananomien



昭和39年竣工 旧庁舎 (1964年) 平成29年竣工 新庁舎 (2017年)

刻(とき)

市役所庁舎が語る未来の起点を表現したちぎり絵作品です。中央は庁舎と共に市民から親しまれる「真心」の像。日本を代表する彫刻家のひとり、舟越保武氏による「鳩を持つ少年と花を持つ少女像」が習志野市から世界の平和を祈っています。生活介護アートグループ共同制作 2022.01

自分たちの
手で
扉をひらく

寄席文字 干支の縁起物



捨てられてしまう端材も・・・木を活かす想いを込めて形にしたら ～ずっとそばに置いておきたい宝物に～お客様から「十二支を揃えて飾ろうかな」と、こんな嬉しい声も。話も弾む向こう12年のお楽しみ。製品を通じて、これから先を思えるのも活動の持続可能性。「さりげない遊びどころと楽しい仕掛け」は、花の実園虎の巻に受け継がれている秘伝なのかもしれません。

12/15-17 習志野市役所 オリジナル製品販売会
年の瀬に1年の感謝と「これからも宜しくお願いします」の気持ちを込めて、毎年行っている販売会です。市長・副市長へ贈呈の席では、自慢のオリジナル製品“寄せ植え・干支の縁起物・ちぎり絵カレンダー”を。すこし緊張する私たちに、宮本市長から「市役所が活気づいた。端材の活用(木工品や台座)はSDGsにつながる良い取り組みだね。」とのお言葉をいただきました。習志野市が昭和58年(1983年)に開設した花の実園。私たちは、地域に開かれた福祉拠点=社会資源として、『誰もがありのままに自分らしく暮らすことのできる共生社会の実現』を目指しています。～人と人とが交流し、温かな絆でつながる街づくりを～その役割を事業活動を通して体現する。大きな使命を担っていることを、胸にした3日間となりました。

2021 → 2022

12/17 谷津コミュニティセンター 出張マルシェ開催



花の実園で収穫した旬の大根をたくさんの方に届けたい! 谷津のマルシェサポーター“みんなのお店”さんの協力を得て出張マルシェが実現しました。谷津コミュニティセンターさんとは園芸花壇整備をはじめ、文化祭への出店参加など、つながりのご縁を大切にしています。1日限りの販売会・雨天にもかかわらず、開店直後より多くのお客様が自慢の新鮮野菜をお買い求めくださいました。谷津地区の熱量はすごい! サークルの活気・街が動いているエネルギーは感動の集客力。交流とふれあいは、再開催の声へ。収穫期の新たな販路として「外部出張販売の機会を作ろう。」次年度活動目標につながる、糧と励みをいただきました。感謝

Digest
- ダイジェスト -



12/28 総合防災訓練 万事に備えた『自助と共助』

非常災害時に活躍する「ロケットストーブ」を炊き出し訓練で実証。一斗缶をふたつ重ねたシンプル設計・燃料は「木っ端」少ない薪で大きな炎・煙も灰も少なく排気もきれい・本体側面も熱くならないからとっても安全。



ロケットストーブ 東日本大震災時、物流がストップした地域で活躍したエコストーブ。長時間安定燃焼の省エネ安全性から災害時炊き出し支援の一つとして、全国で注目されています。

ブクブク沸騰はなかったものの限られた場所・資源・自然のものを大切に使い切る利点は、実際に作って、やってみるからこそわかる! 驚きと発見が連続する有意義な体験となりました。～仕事納めも新たな経験で締めくり～

1/18-25 「ちぎり絵アートの世界へようこそ」
習志野市役所ちぎり絵展 開催

新庁舎の歩みと共に始まった作品展は、第4回目を迎えました。創作・芸術活動の成果である作品を通じ、障がい福祉への関心と花の実園の理解をより深めていただけることを願い、毎年の冬に開催しています。私たちが表現する個性や多様性は色のグラデーションに、手ちぎりの温かさや優しさを重なり合う質感に。～散りばめられた無数の一片(Piace)に、笑顔と希望にあふれる平和(Peace)を願う～珠玉の傑作の数々が、多くの人の記憶に刻まれたら嬉しいです。習志野市と共に未来を紡ぎ、歩み続けています。



社会とつながるアートのチカラ どんな困難な状況でも世界中を笑顔にする無限の可能性を持っています

**就労継続
支援B型**

努力・挑戦・成長 骨太の総合力

心に届く
Move your heart

心を動かす
生活介護

たし算をかけ算にかえる機動力

New-Hananomiモデル -B型×介護-

来年度は創立40周年という節目の年へ beyond40th
今年度もラストスパート。昨今の頃は「来年こそ日常が戻ってくるはず」と信じていました。振り返れば・・・感染拡大第5波からオミクロン株による第6波。かつてないスピードで変化する現実に、今日も新たな経験を積み重ねています。
意識も行動も、すべてを受け入れる経験こそが新しい常識に。
何が起ころかわからないこそ「仲間と共に仕事ができること」がここにある宝物。留まることのない自慢の花の実エンジンを搭載し、今日を明日へそして未来へ、一人ひとりの“特別な秀でるチカラ”を結集し、今を全力で走り続けています。新しい生活様式も、手しごとの趣き・手作りの温か味が花の実園を支えています。

機知に富む 一人ひとりのたくましい知性がチーム力の向上に

道具を大切に使う意識の高さ～技術の習得・鍛錬を積んでいます～
週2回、回収してくる給湯器は大きさも数量も様々。精密機器内部構造の複雑さにも技術力を向上させ、メンバーの中には自分の道具をチョイスする方も。

▼ モーター分解



昨今は、HDD分解などにも領域を拡大し、確立した作業基盤から、より幅広い仕事を請け負うようになりました。小型製品となると、分解してはいけない部品もあり、多くの時間を要する場合も・・・。
貴重な時間を作業成果に直結できる仕組みを模索し認可を得る取り組みなど“解体技術×工賃向上”を図る工夫を構築しています。

給湯器は見た目より機器自体がはるかに重い重量級“より安全に”回収・運搬は数名で周囲・作業環境を常時確認。工具更新や安全靴整備も必須です。経験値は整理整頓力の高まりにも良い効果を上げ、見透し明るい室内で、安定した実績を着実に築いています。



▲ 給湯器回収から搬入・計量へ重量物運搬の安全性を徹底

1台60kgの重い機器も！

3月に入り回収台数も右上がり！

Take apart

解体

深
ゆ
ゆ

陸の王 ライオン color獅子(唐獅子)



海の王 シャチ

▲ トリエを覗いてみると



Woodworks

木工

これまで納品分を合わせるとテーブル14台+背ベンチ2台 憩いの場で活躍しています～



▲ 角の丸みが自慢のウリ

ここは 花の実の森 木を愛する匠の英知が集結しています

ふるさとの木の温もりを伝える芸術品

- ▲ 習志野市役所3階に設置する“特注ショーケース”
 - ▲ 千葉県材「山武杉」を使った、みのりの郷東金(道の駅)“ピクニックテーブル3台”
 - ▲ ふるさと納税返礼品“子ども用木製ベンチ5台”
- 存在感ある製品オーダーが続き、経済が動いていることを実感しています。
木を愛して止まない職人たちの情熱は、技術を継承しつつ進化と共に変革を重ねる。
製作工程は、メンバーそれぞれが異なる作業・役割分担、集約してひとつの製品となることを意識しているから、その日に作り上げる集中力と責任感がすごい！
次の日のスケジュールも考え、段取り、仕事を組み立てる＝見えるライン化・いい仕事・いい時間・いい循環が真骨頂。もうひと手間ふた手間をかける～最後まで手仕上げ～お客様に寄り添う木工品製作の思いは、愛され続けるブランド価値を確立しています。

果 た す

間伐材の端材を活用
ボールスタンド



細部まで磨き上げ



納品間近！特注棚

一片にも重なり合う色
試行錯誤の工夫は必見

しなやかな感性が表情豊かな作品に
大きな驚きと心を惹きつける感動が社会とのつながりに歩き出す



ふっかふか
土起こし×土をふるって



かいゴファーム KaiGo-Farm



制作は毎月1作品以上！

つな がる

花笑む 四季咲きの花仕事

Gardening

園芸

細やかなピンセット使い
イキイキ育つ愛情を▶

早春花だより 温室に一步入ると、冬の寒さを乗り越えた春の花の健気さに心がパッと明るくなります。

開花時期を予想して種から苗を育て上げる園芸は、小さな一粒種から始まります。粉のような超微細種子も、爪楊枝の先を湿らしたり・ピンセットを使う工夫で丁寧に綺麗に播種しています。土・肥料・水・天候・湿度・害虫被害etc、365日の地道な努力が実を結び、どんな種からも笑顔の花を咲かせています。

一輪に注ぐ深い愛情が出会いの花に

自らの得意を活かし、次の作業を見出し取り組む自主性と意欲が温室温度までUPさせる春爛漫の季節を先取り中。気持ちも華やく花の実ガーデンへ、是非お運びくださいね♪



空の王 鷹



世界最大の幻の花 ラフレシア

オステオスペルマム 日が昇ると花が開き、夜には閉じる常緑多年草。春&秋に咲く花期も長く、花色パリエーションも楽しめますヨ♪

育ててみませんか？

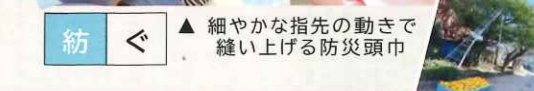
集中力と巧緻性の融合が生産性を生み出す強み

Order 受注

一人ひとりの“得意な技術力”が分業工程にマッチング！

付録作り・宅配便伝票を中心に、様々な作業経験ができる受注チーム。器用・正確・丁寧・確実。仲間と励まし合い、認め合う。尊重する信頼と連帯感で幅広い作業に取り組んでいます。だからこそ、いつどんな仕事も舞い込んできてもどんとこい！が誇りの柔軟性と誠実さに。全員が活躍する潜在能力の発揮＝豊富な専門性と知見の深さとなり、生産向上を生み出しています。毎月異なるアイテムを組む付録作りは、数十年以上取り組む作業です。部屋いっぱい広がるかさ張る資材も、次々と流れるようにテンポよく完成品へ。積み上がる成果は、月平均40,000部。常に工程を確認する声の掛け合いが、受注“結束力”の鍵。

付録も最終工程は“結束”仕上げ！



▲ 細やかな指先の動きで縫い上げる防災頭巾



▲ 12/21 火燃して畑の整理

農Work 農Life 花の実農園 in ヒバリファーム

2年目の挑戦へ

ななめ上を行く

挑
し
む

育てる・届ける・食べる喜び＝仕事の醍醐味は次のステップへ
昨年3月、オーナーさんの温かいサポートで実現した「花の実農園inヒバリファーム」。
畑ごとと四季物語は、朝霜に足元ぬかるむ大根収穫で締めくくり、春に向けた冬養生へ。
11/8 収穫開始から作業回数延べ8回・冬大根総収穫量は800本を超えました。
旬の瑞々しさ・彩り鮮やかな品種など、食卓を楽しむ美味しさをマルシェでお届けし、
多くのお客様から“立派ね！柔らかで甘味がある！新鮮！”の声をいただきました。
とことん楽しむ畑作業で臆せず挑戦する熱意をサポート
1年目のチャレンジから得た次年度のヒントを活動の糧に。実りの喜びを収益力UPへ。
2年目シーズンも楽しみを育て、自分たちの手で可能性を探求し続けます。

- いよいよ 始動
- 3/9 畑の準備 種芋・肥料の仕入
 - 3/10 ジャガイモ植え付け ホクホクの旨さが魅力 アンデスレッド
 - 旬の味覚 & ファームレポート お楽しみに！

生産・販売実績データを踏まえ品種・作付け量を検討！
3月から12月大根収穫まで計画的に取り組もう

一人ひとり活動の幅をひろげよう
活躍発信のファームに育てよう

マルシェを通じた確実な販路をベースに自家栽培野菜で地域とのつながりのきっかけを育てよう



▲ 白菜ずっしり 畝間を一輪車で車へ運び 積み込みます



今日を輝かせる 活躍の場面創出

限られた時間に完了させる“集中力”
オーナーさんから指導を受けながら“体験で培った技術力”
一連の農作業を通じて得た“互いに役割を分担し協力する”
～主体的に行動する喜びが収穫の大きな成果となっています～



さくらまつり カウントダウン

ほんのり春色 ずっと待っていた 風が吹いてきた

花 咲 く 努
力 実 る

3/25 誇らしい自分らしい花が咲き揃う

胸の高鳴りを新たな春に重ねることは つなぐこと
年度末に予定している園内行事「花の実農園アワード」
仲間同士の努力と成長を讃え合う授賞式では、その会場準備を
さくらまつりに連動させるつながりをイメージしています。

心拍数が上がる春“今 私たちにできることで 街を笑顔の和でつなげたい”
花の実農園に咲く桜を街の皆様楽しんでほしい。今春こそ、さくらまつりで再会の時を
心待ちに本格的な準備が動き出しました。
ステージ出演・マルシェ出店、ご参加くださる温かな声は、私たちの背中を後押しする
心強いメッセージです。イベントが待ち遠しい声も届き、大きな励みとなっています。
開催を実現できる方法が必ずある！サポートくださる皆様と共に作り上げる
“迷うことない士気の高さは＝すべての方の安全と安心を最優先とする一枚岩”
「第5回花の実農園さくらまつり2022」は、園庭&温室エリアを会場に感染対策を徹底し、
一体感ある新しいスタイルで開催します。一緒に新たな春を楽しみましょう♪

物販マルシェ&わくわくバザール
ふるさと産品・特産品・フリーマーケットetc
お客様も楽しめるキッズコーナー

ステージパフォーマンス
音楽のまち♪ 響け 吹奏楽ハーモニー
小中学校・高等学校が春空に奏でます
地域で活動する多彩なサークル発表も

① 直近の感染状況により開催の中止・内容の変更をする場合があります。



一人ひとりの輝きで 街に笑顔と交流を

今！いちばんの美味しさで 今日！飛びきりの笑顔になる

出 会 う

地元野菜×自家栽培野菜×ふるさと産品×街の声
サポーターさんの共感が「やってみよう」を支えて下さっています
農家さんが作る旬の野菜に加え、自分たちが育てたヒバリファーム産を
お届けしてきた今年度。活動を発信できる機会と収益を得る相乗効果
を着実に生み出す成果を得られました。
つながりのご縁で実現した、上野村フェアやふるさと産品販売の試みは
お客様の喜びの声から、「やってみよう」をひとつずつ形にしています。
次は、収穫ピーク期に新規販路として外部販売を増やす“出張マルシェ
定期便”を新たな展望として見据えています。

マルシェは接客販売にチャレンジできる働きがい創出の場として、ゆっくり・あ
せらず・しっかり根を張る活動を目指しています。
お客様がご友人にマルシェを紹介くださったり、交流の輪の広がりや新たな出
会いが増え、人と人との接触を極力控えるコロナ禍、距離をとっても心に寄り添
う「つながり」の大切さを肌で感じています。お客様の声を運営に反映する取り
組みは、街と共にマルシェを育てていく“共創への招待状”です。

旬の野菜 サポーター農家さん

販路開拓 出張マルシェ

絆深まる笑顔つながる 共感が織りなす地域ネットワーク

ふるさと産品 習志野の美味しさ

園庭を地域に開放 福福連携 ラジオ体操



笑顔プロジェクト

つなげたい 夢があるから 強くなる

“ポポロマルシェを通じて築いてきた 温かな交流を3年振りとなるさくらまつり開催へ”
感染対策に細心の配慮とダイナミックな運営が開催の両輪です

伝 える



▲ ココロ 春めく マルシェ日和

花の実農園発 街の活気を育む仕掛け 多世代交流が生まれる春のイベント
この街にあふれる魅力で障がいのある人もない人も、ともに交流するさくらまつりは
地域活性化を図るためにも。花の実農園がこの街に存在する社会資源として、ひと
まち・笑顔をつなぐ、絆を育む春のイベントを地域の皆様と育ててきた歩みは、私た
ちの自信と誇りとなっています。
コロナ禍の大変な時期だからこそ、街に愛されるさくらまつりの開催に、今出来るこ
とを実現していきたい。伝えたい思いは“夢・希望・笑顔のチカラ”
爛漫の春のひと時を安心してお過ごしいただけますように、一人ひとりがやるべき
役割は諸事多端。盤石な行動力で、チーム総力を結集しています。

思 い は 届 く

Show Must Go On

会場内では、出演・出店の皆様、ご来場のお客様、全スタッフの健康と安全を最優先に
新型コロナウイルス感染防止対策を実施します。
ご不便をおかけ致しますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
★開催可否は、直近感染状況及びまん延防止等重点措置の動向を受け、最終的に判断しています。
★スケジュールや開催内容は、今後の状況に応じ、変更となる場合があります。
最新情報・感染対策の詳しい取り組みは、花の実農園ホームページで随時お知らせしています。



さくらまつり 第5回 花の実農園 2022

雨天開催 令和4年 4/2(土) 4/3(日) 9:30~16:00 ※3(日)15:00

さあ さくらまつりへ 夢が走り出す 1/6 積雪の朝





季節の歩み
やわらかな春の訪れ

厳しかった寒さも少し和らぎ～温室には春の足音～色とりどりの花が咲き始めました。

新型コロナウイルスが初めて国内報告されてから丸2年。未だコロナ禍の社会活動・日常生活が余儀なくされ、行きたい場所に自由に行けない等の行動制限や暮らしの変容に、免疫力が低下する人が多くなっています。

疫(病気)を免(まぬ)がれる力=感染症に対する防御力を高めるだけでなく、様々な病気の予防にも繋がります。今こそ体を守る毎日の心がけで免疫力アップ! ウイルスから身を守りましょう。

<p>運動</p> <p>悩みやモヤモヤリフレッシュ 代謝もアップ・細胞活性化</p>	<p>人との関わり</p> <p>元気な人と一緒にいると 自分まで笑顔になります</p>
<p>バランスの良い食事</p> <p>ビタミンCをたっぷりと 生姜・ニンニクで体内から温めて</p>	<p>生活リズム</p> <p>食事・運動・睡眠時間の体内時計 毎日同じリズムに整えて</p>

免疫力の鍵

※文献参照 順天堂大学医学部免疫学特任教授: 奥村康先生

感染を防ぎ リスクを最小限に

出来ることは経験から得た「基本対策」の継続徹底です

新変異株が全国的に確認され急拡大、専門家の予想ではまだまだ対策の緊張が続きます。こまめな手洗い・手指消毒・マスク着用・適切な換気・人との距離・共用で触れる場所の定期消毒・体調確認 ～そして～ 「ワクチン追加接種と治療薬」で、収束に向かう活路を見出せることを願っています。

花の実園を止めない「うつらない・うつさない・かからない」
利用者・職員が一丸となって感染予防対策に取り組んでいます。
今後とも、ご家族皆さまのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

びったりフィット マスクは「すき間なく・鼻にかけて・あごまで伸ばして」
同じ空間にいる集団生活 = 正しい着用が予防対策の要



互いの検温に始まる朝

～ここに来るとホッとする～

仲間がいる安心感が毎日の笑顔の源
在籍する約100名と職員を合わせた
チーム花の実はひとつの大家族。
体調確認でその日の表情・雰囲気・ち
よつとした変化に気づき合います。
“優しさと思いやりに花の実園の底力”

行事予定

経験を重ねた今だからこそ
明日につなぐ希望がある

3/25(金)	Spring Schedule	花の実園アワード 読え合う春へのステップ
4/1(金)		令和4年度 開所式
4/2(土)・3(日)		第5回花の実園さくらまつり2022 ※2(土)登園日
4/8(金)		休園日(さくらまつり振替休日)
4/16(土)～17(日)		ちぎり絵 第38回芸術祭 特別参加 *会場 モリシアホール
5月下旬～6月		ちぎり絵 アートフレンズ展 出展予定

※スケジュールや内容は変更となる場合もあります。

表紙のことば

For the best smile one by one

はなのみ未来事典「一人ひとりの輝きをもとめて」

個性を強みに自分らしく、多様性を響かせ合う共生社会の実現に貢献する。習志野市とこの街と、共に歩む持続可能な毎日は、咲く花の美りと10年後そしてその先へ。
～今日の笑顔を未来の笑顔へ～積み上げてきた創立から39年の歴史は伊達ではないのだから。

編集後記

季刊発行 春号は年度のしめくくり

～人と街と笑顔のつながりを育むきっかけに～広報誌に込めた
思いです。寄り添う言葉を紡ぐ編集は、エネルギー溢れる毎日と、
アドバイザーさん・カメラマンさん、たくさんの力添えに支えられて
います。まだまだ伝え尽くせていない!と、半歩だけ前のめり
気味に、大先輩方に学ぶことばかり。私事、花の実園3年生...
未経験からスタートした門外漢の広報担当。書くことで通じ得た
伝わる・つながる交流は今、人生の貴重な経験となっています。
今年度 花の実だよりをお読み下さりありがとうございました。
「一人ひとりが活躍する輝きは 活動を明日につなぐ布石の煌き」
希望にあふれる“花の実園らしさ”をお届けできたら嬉しいです。

これからも関わるすべての方々に 笑顔の花が咲きますように

広報委員 山田広美

